

新たな総合計画の策定方針

I 計画の概要

1 計画策定の趣旨

- ・ 現行の「『未知への挑戦』とくしま行動計画」が令和4年度で終了するため、「アフターコロナ」、さらにその先の「ポストコロナ新時代」への挑戦を見据え、本県の目指すべき将来像やその実現に向けた今後4年間の施策を示す新たな総合計画を策定

2 計画の構成内容

次の3層構造により構成

【長期ビジョン】

- ◆ 県人口ビジョンの目標年である「2060年頃」を展望し、「2050年カーボンニュートラル」達成を視野に時代潮流を的確に把握する、本県が目指すべき将来像
- ◆ 将来を担う若者が希望をもてる「徳島の未来像」や「柔軟な発想」を積極的に反映

【中期プラン】

- ◆ 長期ビジョンを踏まえ、手の届く未来である「10年程度先」となる2030年頃の実現を目指す戦略
- ◆ 新たなマイルストーン「2025年大阪・関西万博」で創出されるレガシーを見据え、極めて重要な「2030年SDGs」達成に向けた県政運営の方向性

【行動計画】

- ◆ 「2025年大阪・関西万博」を契機とした更なる飛躍を目指す取組みなど、4年間に取り組む重点施策
- ◆ 県民、NPO、ボランティア、地域の団体、高等教育機関、企業、行政など多様な主体と「ビジョンと目標」の更なる共有を図るよう、計画の進捗を実感しやすい指標を設定

II 策定手法

1 県民意見の反映

- ・ 徳島の未来の姿を共有し、ともに希望あふれる徳島を創るため、将来を担う若者の意見を中心に聴取

聴取のポイント

- ◆ 各圏域で対話集会“新未来セッションNEO”を開催
- ◆ 対話集会の対象を従来の「県内の若者（高校生・大学生）」に加え、新たに「県外在住者」「子育て世代」「若手有識者」等を追加・拡充

2 大学との協働

- ・ 本県の将来像等の検討に際しては、専門的知見が必要であることから、包括協定等を締結する大学の協力を得る
- ・ 若者の意見聴取にあたっては協力いただく

3 総合計画審議会

- ・ 計画についての意見や提言を求め、その意見や提言を反映し策定
- ・ 特に、「未知への挑戦」推進部会は審議の中心を担っていただき、県民との対話集会等からの意見集約などを担当

4 庁内の策定体制

- ・ 各部局とも連携し、SDGsの視点による計画策定を行うため、部局横断の庁内PTを設置